

	世田谷区立砧中学校 校長室だより 令和4年 4月25日 第 9 号 校長 大坂 崇		教育目標 「豊かな人間性の育成」 ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う ◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる		
	社会性の学び		知的な学び	心と体の学び	
	自他の尊重 地域貢献		主体的な学び 学習の定着	心身の健康	

大切にしたい意識(前)

特別支援教育+α

1 特別支援教育とは…

- × 「特定の生徒に特別な支援を行うこと」
- 「すべての生徒に対して個に応じた指導を行うにあたり、その程度に応じて、適切な手段で支援を行うこと」
- ⇒ つまり、特別支援教育は、個に応じた指導の延長上にある

2 障害者差別解消法の施行 (28. 04. 01)

障害を持つ人に「合理的配慮」を行わないことは「差別」とされた

- ⇒ 「合理的配慮を行わないのは×」(施設や人的等の事情で不可能なものを除く)
- ⇒ 対応例：拡大文字教材、ふりがな、テストの時間や場所や机に関する配慮 等
(文科省による具定例を、裏面に掲載)

3 「インクルージョン」の考え方の範囲拡大(多様性の価値観の広がり)

これまで ⇒ 障害を持つ人もない人も、共存できる社会を…

最近の変化 ⇒ 性的マイノリティ(LGBTQ)の人とも共生できる社会を…

*最近の「性」に対する考え方(「性」は男・女2つではなく、複雑なものとする)

… 次の4つの指標の総体と考える(いずれもスペクトラムとしてとらえる)

①身体的「性」 :

男	女
---	---

②自覚している「性」 :

男	女
---	---

③社会的な「性」 :

男	女
---	---

口ぶりや服装、自己表現等、行動に現れる「性」のこと

④「性」の嗜好 :

男	女
---	---

愛情を感じる「性」、好きになる「性」のこと

☆ 欧米の国々では、

「特別な支援」といった場合、その人の「障害」や「特性・個性」に加えて、「性」に関わることも含むようになってきています。

1. 共通

- ・バリアフリー・ユニバーサルデザインの観点を踏まえた障害の状態に応じた適切な施設整備
- ・障害の状態に応じた身体活動スペースや遊具・運動器具等の確保
- ・障害の状態に応じた専門性を有する教員等の配置
- ・移動や日常生活の介助及び学習面を支援する人材の配置
- ・障害の状態を踏まえた指導の方法等について指導・助言する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士及び心理学の専門家等の確保
- ・点字、手話、デジタル教材等のコミュニケーション手段を確保
- ・一人一人の状態に応じた教材等の確保（デジタル教材、ICT 機器等の利用）
- ・障害の状態に応じた教科における配慮（例えば、視覚障害の図工・美術、聴覚障害の音楽、肢体不自由の体育等）

2. 視覚障害

- ・教室での拡大読書器や書見台の利用、十分な光原の確保と調整（弱視）
- ・音声信号、点字ブロック等の安全設備の敷設（学校内・通学路とも）
- ・障害物を取り除いた安全な環境の整備（例えば、廊下に物を置かないなど）
- ・教科書、教材、図書等の拡大版及び点字版の確保

3. 聴覚障害

- ・FM 式補聴器などの補聴環境の整備
- ・教材用ビデオ等への字幕挿入

4. 知的障害

- ・生活能力や職業能力を育むための生活訓練室や日常生活用具、作業室等の確保
- ・漢字の読みなどに対する補完的な対応

5. 肢体不自由

- ・医療的ケアが必要な児童生徒がいる場合の部屋や設備の確保
- ・医療的支援体制（医療機関との連携、指導医、看護師の配置等）の整備
- ・車いす・ストレッチャー等を使用できる施設設備の確保
- ・障害の状態に応じた給食の提供

6. 病弱・身体虚弱

- ・個別学習や情緒安定のための小部屋等の確保
- ・車いす・ストレッチャー等を使用できる施設設備の確保
- ・入院、定期受診等により授業に参加できなかった期間の学習内容の補完
- ・学校で医療的ケアを必要とする子どものための看護師の配置
- ・障害の状態に応じた給食の提供

7. 言語障害

- ・スピーチについての配慮（構音障害等により発音が不明瞭な場合）

8. 情緒障害

- ・個別学習や情緒安定のための小部屋等の確保
- ・対人関係の状態に対する配慮（選択性かん黙や自信喪失などにより人前では話せない場合など）

9. LD、ADHD、自閉症等の発達障害

- ・個別指導のためのコンピュータ、デジタル教材、小部屋等の確保
- ・クールダウンするための小部屋等の確保
- ・口頭による指導だけでなく、板書、メモ等による情報提示